



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2021年12月号ブリテン

通算第126号 2021.12.26



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2020—2021年度 主題 (Theme)

国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 「私たちは次の世代のために何ができるか?」
北東部 部長 南澤一右(仙台青葉城) 「【続】変化を楽しみながら新生北東部を創ろう!」
仙台広瀬川クラブ会長 菅野 健 「10年の歴史を励みに、次なる10年へ」

今月の聖句

『神は我々と共におられる』

マタイによる福音書1章23節

菅野 健

巻頭言

『留学生に寄り添う心』

阿部松男

クラブ10周年企画として開催された、YMCA国際ホテル製菓専門学校の留学生による日本語のスピーチを聴く機会に恵まれました。これまではYMCA会館に出入りするたびに留学生とは出会って来ていましたが、話をすることもなく挨拶に答えるだけの私でした。

5名の留学生の方がスピーチされ、在学留学生の皆さんも多数出席されました。学校側からも多くの教職員の方々がご出席くださいました。留学1年生もいたため日本語でのスピーチは大変かなと思っていたのですが、スタートするとその心配は吹き飛びました。難しい日本語も使い、スピーチの内容もそれぞれに個性があり、日本人として大人として気がつかないことをつくづく思い知られました。

私は人の前で話すのが大の苦手です。まして自分の国以外の言葉で話すことなどは想像もできません。日本での留学生の皆さんの生活は決して楽なものではなく、コロナ禍が追い打ちをかけているとのことでした。

今回のスピーチを機会に留学生に寄り添う心を強くしなければと思い知らされました。

2021～2022 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	EMC	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	DBC	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	松本 京子	DBC	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
監 査	高篠 伸子	ユース	佐藤 剛	ブリテン	佐藤 健吾
地域奉仕	阿部 松男	ユース	清水川 洋	担当主事	増山 和憲
地域奉仕	本野日出子	YMCA サービス	門脇 秀知	記念行事	加藤 研

12月第1例会 強調月間：EMC-MC							
在籍者	14名	出席者	8名	メイキャップ	0名	出席率	57%
メネット	1名	ゲスト・ビジター	2名	ニコニコ	10,000円		

【12月第1例会報告】

日 時：2021年12月15日（土）

場 所：仙台 YMCA3 階サービス実習室

参加者：阿部メン、加藤メン、門脇メン、菅野メン、多田メン、多田メネット、
松本ウイメン、本野ウイメン、村井メン、増山

ゲスト：Y M C A 国際ホテル製菓専門学校
加藤雄一氏、小林尚美氏

◆12月第1例会は、黙祷から始まり、クリスマス礼拝が行われました。ゲストの加藤雄一さんより、先日行われた『日本語でプレゼンテーション』そして『クリスマス』についてのお話をいただいた後に、祈りを捧げながら、主イエスの誕生を祝福する時間となりました。

クリスマス礼拝を終え、菅野会長から「若いボランティアユースリーダーとワイズメンの2つの支える力があり、YMCAが成り立っている。」という挨拶があり、例会が始まりました。クリスマス例会ということで、お弁当の他にもケーキが用意され、クリスマスのBGMを聞きながらの会食となりました。会食後は、オークションが行われ、絵画や食べ物、楽天グッズなどに「1,000円!」「1,200円!」という声と共に、ワイズメンの皆さまの笑いに包まれながらオークションが行われました。今回のオークションでは、合計30,000円の売上になったと松本ウイメンより報告がありました。2021年、最後の例会も神様の恵みの中で終了しました。

報告者：増山



【12月第2例会報告】

日 時：2021年12月1日（水）

場 所：仙台YMCA203教室

参加者：阿部メン、加藤メン、門脇メン、菅野メン、多田メネット、松本ウィメン
増山

ゲスト：仙台YMCA国際製菓専門学校

校長：加藤雄一氏 教務：小林尚美氏

黙祷から12月第2例会が始まり、広瀬川ワイズメンズクラブ10周年記念行事についての総評が行われた。『記念誌』『例会』『日本語プレゼンテーション』について振り返りの時間となった。

ゲストの加藤校長より

・学生にとって良い機会となった。学生のレベルの高さに驚いた。またスピーチの内容も良かった。日本の学生にも参加して欲しかったと思う。

ゲストの小林さんより

・学生が、間違ってもあきらめなくて良かったと達成感を感じていた。スピーチへの参加は出来ないが、応援したいと会場に来て、手伝ってくれた学生がいた。来年に向けて話をする姿があった。

ワイズメンより

- ・1回で終わらせるのではなく、次年度に繋げていきたいという思いが話されました。また、継続していくために、4クラブでどのように取り組んでいくかを話していくことが大切。
- ・コロナの関係で、例会と日本語プレゼンテーションを別日に実施したが、スピーチをするにあたり留学生にとっては、主役だと思えるような時間になったと思う。

◆クリスマス例会について

- ・会場は、仙台YMCA3階サービス実習室で実施し、オークションを実施する。今後のコロナの感染状況によっては変更する。

◆国際・地域協力募金

- ・今年度も街頭募金は実施しないが、募金への協力をお願いしていく。

◆バザー

- ・目標金額は15万円だったが、各施設が取り組めることを実施し、約18万円の収益があったことが松本ウィメンより報告がされた。

- ◆担当職員より、チャリティーラングズが届いたこと。冬季ユースボランティアリーダー委嘱状授与式と仙台YMCA職員クリスマスへの参加確認がされた。

報告者：増山



ユースボランティアリーダー 冬季委嘱状授与式

今年も多くのボランティアに支えられて冬を迎えます。心から感謝致します。現在ボランティアの皆さんは冬季プログラムで奮闘中です。

12月4日(土) 11時よりYMCA会館で冬季委嘱状授与式が行われました。授与式には仙台広瀬川ワイズメンズクラブから菅野メン、加藤メン(ユースボランティア委員会委員長)村井メン(総主事)にご参加頂きました。感謝致します。

開会礼拝では石巻広域ワイズメンズクラブ、石巻栄光教会川上直哉牧師をお招きし、お話を傾けました。「正義を行い、慈しみを愛し、神と共に歩む事」を考え、共に学ぶ機会を頂きました。

授与式ではボランティアリーダー、レイパーソン、職員が交流を深める事ができました。仙台広瀬川ワイズメンズクラブの皆様へ励ましを受けたリーダーたちは一生懸命ボランティア活動をしています。また、加藤メンからリーダーたちにクリスマスプレゼントを頂きました。心から感謝を申し上げます。



◆参加者 20名 委嘱状授与者 10名(当日の参加は2名)

報告者：荒木啓二

仙台YMCAクリスマス

今年第50回を迎える「仙台YMCAクリスマス」が12月3日(金)18時から無事開催されました。

記念する第50回でしたが、コロナがまだ終息していないため、規模を縮小し、第1部礼拝と第2部交流会に分かれて行われました。

第1部の礼拝は、川上直哉牧師と昨年と同様に『0 M 日本教団』の皆さまによって執り行われました。川上牧師の祈りから始まり、讃美歌の「もろびとこぞりて」を現代語訳し、今の時代に合わせた新しい歌詞の「喜びたたえよ」を歌い、その後にスキットを交え、「なぜクリスマスをお祝いするのか?」にて、「各国によってなぜクリスマスをお祝いする形が違うのか?」、「なぜ2000年以上もイエス様の誕生日をお祝いするのか?」などが披露され、それは「イエス様が私達を一人にしないためである」と締めくくられました。

その後、聖句、献金、感謝の祈り、祝祷と続き、カジュアルな内容であったため、子どもたちも飽きることなく参加できたようです。

第2部の交流会は、入場時に渡されたカードでグループ分けされたチームで「ジェスチャーゲーム」を行いました。実行委員やYMCA職員の方々が、大きな動きで面白くジェスチャーを行い、全チームが全問正解するという結果となり、プレゼントを懸けたジャンケン決勝は子ども対大人になり、なかなか子どもが勝てず、勝つまで皆笑顔で見守っていました。

引き続き、留学生による「ネパールの踊り」が披露され、盛況のうちに第50回仙台YMCAクリスマスは終了いたしました。例年のように飲食はありませんでしたが、各施設の子どもたちによる装飾や、今

までのクリスマスの写真展示もあり、あたたかいものでした。

人数が少ないためか、いつもより留学生との交流があったように感じました。また、入口には皆様からのご支援による、留学生に渡す食糧支援のプレゼントが大きな袋に入っていました。

留学生の方々と心温まる一日が過ごせた今回のクリスマスでした。

報告者：多田純子



YMCA通信

◆2月23日（水）は、カナダで始まったいじめ反対運動の『ピンクシャツデー』です。会員の皆様への発信と共に、仙台YMCA各施設がシンボルカラーのピンクに染まっています。いつでも、どこでも、互いを思いやる気持ちは大切です。

1月の予定

◆1月19日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1・第2合同例会

【編集後記】

こどもたちの心がはずむ冬休みが始まりました。私たちも冬季のプログラムが始まり、たくさんの子どもたちとプログラムを行っています。こどもたちの笑顔は、私たちの心の栄養剤ですね。一緒に活動ができることに感謝しながら歩んでいきます。

【K・M】